

新旧対照表

○地方独立行政法人神奈川県立病院機構 令和6年度業務実績評価書（案）

新	旧	備考
修正① P 2 2 全体評価 （項目別評価の結果） (1) 大項目「県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」 小項目33項目中<u>17項目</u>で年度計画を達成し、また、8項目で年度計画を概ね達成した。一方で、<u>7項目</u>は年度計画を下回り改善の余地があるが、1項目は、年度計画を大幅に下回っていることから、大項目評価としては総合的に判断してB評価（中期計画の達成に向けて概ね順調な進捗状況にある）が妥当であると判断した。	P 2 2 全体評価 （項目別評価の結果） (1) 大項目「県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」 小項目33項目中<u>16項目</u>で年度計画を達成し、また、8項目で年度計画を概ね達成した。一方で、<u>8項目</u>は年度計画を下回り改善の余地があるが、1項目は、年度計画を大幅に下回っていることから、大項目評価としては総合的に判断してB評価（中期計画の達成に向けて概ね順調な進捗状況にある）が妥当であると判断した。	第1回評価委員会で委員から頂戴した意見を受けて、小項目18の評価をB評価からA評価へ、小項目24の評価をC評価からB評価へ修正しました。 そのため、評価の変更を反映して項目数の修正をしています。
修正② P 2 （業務実績の検証） 一方で、足柄上病院では常勤医師の不足に伴い、新入院患者数や病床稼働率が減少したほか、病院機構全体でも<u>専攻医</u>の採用が予定数を下回っており、人材の確保に課題が残った。また、財務面では総損益が40億6,200万円のマイナスと、独法化以降最も厳しい結果となり、資金収支も前年度期末比24億8,500万円の減となるなど、早急な経営改善の取組が必要な状況となっている。	P 2 （業務実績の検証） 一方で、足柄上病院では常勤医師の不足に伴い、新入院患者数や病床稼働率が減少したほか、病院機構全体では<u>専攻医や事務職員</u>の採用が予定数を下回っており、人材の確保に課題が残った。また、財務面では総損益が40億6,200万円のマイナスと、独法化以降最も厳しい結果となり、資金収支も前年度期末比24億8,500万円の減となるなど、早急な経営改善の取組が必要な状況となっている。	第1回評価委員会で委員から頂戴した、「事務職員の確保は人手不足の中難しい中、事務の遂行に努めている」といった御意見を受け、記載を修正しました。

新					旧					備考																																									
修正③ P 3 (評価結果一覧) 項目別評価欄 <table><tr><th colspan="2">大項目</th><th>評価</th><th>小項目 評価</th><th>項目数</th></tr><tr><td rowspan="6">1</td><td rowspan="6">県民に対して提供するサービス その他の業務の 質の向上に関する 目標を達成する ためとるべき 措置</td><td rowspan="6">B 中期計画の達成 に向けて概ね順調な進捗 状況にある。</td><td>S</td><td>0</td></tr><tr><td>A</td><td><u>17</u></td></tr><tr><td>B</td><td>8</td></tr><tr><td>C</td><td><u>7</u></td></tr><tr><td>D</td><td>1</td></tr><tr><td>項目数 計</td><td>33</td></tr></table>					大項目		評価	小項目 評価	項目数	1	県民に対して提供するサービス その他の業務の 質の向上に関する 目標を達成する ためとるべき 措置	B 中期計画の達成 に向けて概ね順調な進捗 状況にある。	S	0	A	<u>17</u>	B	8	C	<u>7</u>	D	1	項目数 計	33	P 3 (評価結果一覧) 項目別評価欄 <table><tr><th colspan="2">大項目</th><th>評価</th><th>小項目 評価</th><th>項目数</th></tr><tr><td rowspan="6">1</td><td rowspan="6">県民に対して提供するサービス その他の業務の 質の向上に関する 目標を達成する ためとるべき 措置</td><td rowspan="6">B 中期計画の達成 に向けて概ね順調な進捗 状況にある。</td><td>S</td><td>0</td></tr><tr><td>A</td><td><u>16</u></td></tr><tr><td>B</td><td>8</td></tr><tr><td>C</td><td><u>8</u></td></tr><tr><td>D</td><td>1</td></tr><tr><td>項目数 計</td><td>33</td></tr></table>					大項目		評価	小項目 評価	項目数	1	県民に対して提供するサービス その他の業務の 質の向上に関する 目標を達成する ためとるべき 措置	B 中期計画の達成 に向けて概ね順調な進捗 状況にある。	S	0	A	<u>16</u>	B	8	C	<u>8</u>	D	1	項目数 計	33	修正①に同じ。	
大項目		評価	小項目 評価	項目数																																															
1	県民に対して提供するサービス その他の業務の 質の向上に関する 目標を達成する ためとるべき 措置	B 中期計画の達成 に向けて概ね順調な進捗 状況にある。	S	0																																															
			A	<u>17</u>																																															
			B	8																																															
			C	<u>7</u>																																															
			D	1																																															
			項目数 計	33																																															
大項目		評価	小項目 評価	項目数																																															
1	県民に対して提供するサービス その他の業務の 質の向上に関する 目標を達成する ためとるべき 措置	B 中期計画の達成 に向けて概ね順調な進捗 状況にある。	S	0																																															
			A	<u>16</u>																																															
			B	8																																															
			C	<u>8</u>																																															
			D	1																																															
			項目数 計	33																																															
修正④ P 5 3 大項目評価 (1)大項目「県民に対して提供するサービスその他の業務の 質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」 (評価結果と判断理由) 「質の高い医療の提供」、「質の高い医療を提供するための基盤整備」、「患者や家族、地域から信頼される医療の提供」及び「県の施策との連携」の4つの面における取組をそれぞれ検証したところ、小項目33項目中<u>17項目</u>で年度計画を達成し、また、8項目で年度計画を概ね達成した。一方で、<u>7項目</u>は年度計画を下回り改善の余地があること、1項目は年度計画を大幅に下回ったことから、大項目評価としてはB評価が妥当であると判断した。					P 5 3 大項目評価 (1)大項目「県民に対して提供するサービスその他の業務の 質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」 (評価結果と判断理由) 「質の高い医療の提供」、「質の高い医療を提供するための基盤整備」、「患者や家族、地域から信頼される医療の提供」及び「県の施策との連携」の4つの面における取組をそれぞれ検証したところ、小項目33項目中<u>16項目</u>で年度計画を達成し、また、8項目で年度計画を概ね達成した。一方で、<u>8項目</u>は年度計画を下回り改善の余地があること、1項目は年度計画を大幅に下回ったことから、大項目評価としてはB評価が妥当であると判断した。					修正①に同じ。																																									

新	旧	備考
修正⑤ P 6 (小項目評価の主な内容) ・ 病院機構の自己評価との相違等が認められた主な事項(削除)	P 6 (小項目評価の主な内容) ・ 病院機構の自己評価との相違等が認められた主な事項 <u>臨床研究の推進(小項目24)について、昨年度課題に挙げていた「研究倫理審査システム」の整備について、システムを導入し、各病院の研究倫理審査委員会における審査フローや申請様式等の統一に向けた調整を行うことにより、円滑なシステム運用の整備に努めたことが認められる。一方で、治験受託件数、医師主導型を含む臨床試験件数及び英語論文件数のいずれについても、概ね目標値を達成してはいるものの、病院別に見ると目標値を大きく下回った項目もあり、D評価も昨年度から一つ増加したことから、総合的に判断し、C評価とした。</u>	小項目24の評価をC評価からB評価へ変更したことにより、病院機構の自己評価と県の評価が一致したため、小項目24についての記載を削除しました。
修正⑥ P 9 4 評価委員会からの意見、指摘等 (1) 令和7年度神奈川県地方独立行政法人神奈川県立病院機構評価委員会委員 <u>委員長</u> 河原 和夫(医療法人財団利定会大久野病院理事・院長) <u>副委員長</u> 宮川 弘一(神奈川県医師会副会長) 委員 渋谷 恵(認定NPO法人ささえあい医療人権センターCOML委員バンク登録会員) 委員 菅 泰博(神奈川県病院協会副会長) 委員 高橋 貢子(公認会計士) 委員 本館 教子(神奈川県看護協会会長)	P 9 4 評価委員会からの意見、指摘等 (1) 令和7年度神奈川県地方独立行政法人神奈川県立病院機構評価委員会委員 <u>委員</u> 河原 和夫(医療法人財団利定会大久野病院理事・院長) 委員 渋谷 恵(認定NPO法人ささえあい医療人権センターCOML委員バンク登録会員) 委員 菅 泰博(神奈川県病院協会副会長) 委員 高橋 貢子(公認会計士) <u>委員</u> 宮川 弘一(神奈川県医師会副会長) 委員 本館 教子(神奈川県看護協会会長)	第1回評価委員会で、委員長の選出、副委員長の指名が行われたことを受け、記載内容及び記載順を変更しました。

新	旧	備考
修正⑦ P 9 4 評価委員会からの意見、指摘等 (4) 各委員からの主な意見 <令和7年8月1日（金）開催時> 小項目18（人材の確保と育成 医療技術職員・事務職員の 人材確保） 県評価案のB評価について ・ <u>人材の確保、特に事務職員の確保は人手不足の中難しいと思われるが、人手不足の中でも、事務の遂行に努めていると思われる。それを踏まえてA評価としてもよいのではないか。</u> 小項目24（臨床研究の推進） 県評価案のC評価について ・ <u>病院ごとの実績数などから県はC評価としたと思うが、治験受託件数の全体の実績値が増加しているのであれば、B評価としてもよいのではないか。</u>	旧 P 10 4 評価委員会からの意見、指摘等 (4) 各委員からの主な意見 （新規）	第1回評価委員会で御意見を頂戴した ものについて記載しました。
修正⑧ P 10 (5) <u>委員の意見を受けて評価を変更した項目</u> ・ <u>小項目18（人材の確保と育成 医療技術職員・事務職員の 人材確保）について、委員の意見を受けて、B評価からA評価へ変更した。</u> ・ <u>小項目24（臨床研究の推進）について、委員の意見を受けて、C評価からB評価へ変更した。</u>	（新規）	「(4)各委員からの主な意見」を受けて、 評価を変更した項目について、左記 のとおり記載しました。